

備前市 事務事業評価表

事務事業名	河川等維持管理事業（日生）		コード	01-03-01-04
			担当課・係	日生総合支所産業建設課
事業実施期間	昭和46年～		担当者	山田邦男
			電話	0869-72-1259
総合計画 事業（政策）体系	大項目(基本目標)	安全で快適に暮らせる街づくり		
	中項目(基本施策)	災害に強いまちづくり		
	小項目(施策)	河川改修・砂防施設整備		

事業について	
目的 (何のために)	部分的な破損、老朽化箇所が決壊・氾濫等の災害原因とならないように河川及び雨水排水路の維持管理に努めていく。
対象 (誰・何を対象に)	河川・水路沿い沿線地区住民及び下流域に生活する市民のため。
内容	パトロール及び各地区からの要望により、維持補修箇所を把握し、事業を進めていく。なお、危険箇所については早急に対応する。

事業の結果			
実施項目	17年度 回数など (単位)	18年度 回数など (単位)	回数など (単位)
維持修繕箇所	5 箇所	10 箇所	
漏水箇所	0 箇所	0 箇所	
事業費 (単位：千円)	事業費 直接事業費 2,500 人件費 1,764 合計 4,264	財源 国庫補助金等 市債 一般財源等	事業費 直接事業費 2,483 人件費 3,300 合計 5,783

必要人員	0.23 人	0.40 人	
結果指標	結果指標名 維持修繕箇所	結果指標名 維持修繕箇所	
結果指標	結果指標量 5	結果指標量 10	
結果指標	単位 件	単位 件	
結果指標	対前年比 -	対前年比 200.00%	対前年比 0.00%
結果指標	活動にかかるコスト 4,263,630 円	活動にかかるコスト 5,783,250 円	活動にかかるコスト 0 円
結果指標	単位当たりコスト 852,726 円	単位当たりコスト 578,325 円	単位当たりコスト 0 円

事業の成果			
どのような成果を得ようとしているか	河川の氾濫や危険箇所を減少させる。		
成果指標名	維持管理不備による事故発生箇所	式又は説明	河川維持修繕を実施することにより災害・事故が発生しないようにする
成果指標量	17年度 0	18年度 0	
到達目標値	0	到達目標年度	

事業の目的、対象、内容を考えながら目的妥当性の評価を行って下さい。

事業費や単位当たりコストに留意しながら効率性の評価を行って下さい。

事業の目的やその数値目標である成果指標に留意しながら有効性の評価を行って下さい。

事務事業の評価		(平成18年度事業)
目的・対象・内容の妥当性評価	目的の妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 関係法令等で目的が定められており妥当である <input type="checkbox"/> 事業開始当初の目的は、ほぼ達成されている <input type="checkbox"/> 事業開始当初の目的から変化しつつある <input type="checkbox"/> 現在の市を取り巻く環境からも目的は妥当である (関係法令等： 河川法)
	対象の妥当性	<input type="checkbox"/> 受益者の拡大を検討する余地がある <input type="checkbox"/> 受益者の縮小を検討する余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 現在の対象者は妥当である
	市民ニーズの妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 市民、団体などから要望・要請のある事業である <input checked="" type="checkbox"/> 市民に概ね好評な事業である <input checked="" type="checkbox"/> 公共秩序の維持、行政の適正運営に必要な事業である
効率性の評価	市の関与の妥当性	<input type="checkbox"/> 国・県又は関係法令で定められている事業である <input type="checkbox"/> 民間に類似サービスがある <input checked="" type="checkbox"/> 本市が関与すべき事業である <input checked="" type="checkbox"/> 事業を取り止めた場合の影響は大である
	コストの効率化	<input type="checkbox"/> 単位当たりコストは増加傾向にある <input checked="" type="checkbox"/> コスト削減の努力をしている <input type="checkbox"/> できる限り民間活力を利用している <input type="checkbox"/> 受益者負担額は適正である
	手段の最適化	<input checked="" type="checkbox"/> 最適な手段を求めて職場内で確認・見直しを行っている <input type="checkbox"/> 他に有効な代替手段が見当たらない <input type="checkbox"/> 事業は他部署と密接な連絡調整を行っている
有効性の評価	職場の効率化	<input checked="" type="checkbox"/> 事業に関して事務改善等作業効率の向上に努めている <input type="checkbox"/> 事業に関するOJT（職場研修）は行われている <input type="checkbox"/> 事業の進行管理を定期的に行っている <input type="checkbox"/> 事業実施について職員の意見・要望が反映されやすい
	目的達成度	<input checked="" type="checkbox"/> 成果指標の目標値は目標年度に達成できそうである <input checked="" type="checkbox"/> 成果指標は前年度より向上している
	成果向上の可能性	<input type="checkbox"/> 成果は向上しており今後も向上する見込みである <input checked="" type="checkbox"/> 今後、成果指標は向上する余地がある
市民参画度	<input checked="" type="checkbox"/> 事業について積極的に情報提供している <input checked="" type="checkbox"/> 事業実施等で積極的に市民意見を反映している <input type="checkbox"/> 事業にはNPO、ボランティア団体等が参画している <input type="checkbox"/> 事業のプラン作りから市民参加を得る手段をとっている	

平成19年度状況	<input type="checkbox"/> 重点化している <input checked="" type="checkbox"/> 前年度と同様に継続している <input type="checkbox"/> 見直し継続している <input type="checkbox"/> 事業を縮小している	<input type="checkbox"/> 休止している <input type="checkbox"/> 他の事業と統合している <input checked="" type="checkbox"/> 平成18年度で廃止・完了	説明 要望があればその日に現地確認し、費用・効果・危険度を判断し維持補修を行っている。
目標値	結果指標量 11	結果指標量 0	

総合評価	技術的要素の少ない維持補修についてはNPO、自治会、ボランティアなどに材料を支給して協力を得ること等により、補修費を減少させる余地はある。	評価区分 <A~E> B
------	---	---------------------------

平成20年度以降の方向性	<input checked="" type="checkbox"/> さらに重点化する(行政資源を集中的に投入する) <input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続する <input type="checkbox"/> 見直しのうえで継続する	<input type="checkbox"/> 事業の縮小を検討する <input type="checkbox"/> 休止・廃止を検討する <input checked="" type="checkbox"/> 平成19年度で廃止・完了 <input type="checkbox"/> 他の事業と統合を検討する
--------------	--	---

平成20年度以降の改善事項			
評価の視点	改善内容	改善時期	改善により期待される効果
妥当性	ニーズは高いが要求度を下げる	平成22年度	要求度を下げることにより維持管理費の減少が図れる
効率性	市河川の維持管理手順の改善	平成25年度	河川の維持管理費の減少
有効性	NPO、自治会、ボランティア等の参画	平成22年度	河川の維持管理人件費の減少